



御堂筋から世界へ TDAもデザインの魅力、発信！＜御堂筋デザインストリート2011＞
『呼吸する布と木のフェスタ』in ギャラリー収納 御堂筋

歴史的にも文化的にも価値の高い御堂筋のブランド力を高め、大阪の新しい都市魅力を引き出し、人が集まる街づくりを目的に、ムーブメントづくりに取り組むデザインイベント「御堂筋デザインストリート2011」の第一回目が、9月12日から19日までの8日間、大阪市のメインストリートとも言える御堂筋沿線で開催された。

また、期間中は御堂筋デザインストリートのバナーが御堂筋の街頭をジャックするなど街全体がデザインモード色に染められた。その中で、御堂筋に面し中央大通りを少し北へ行った「ギャラリー収納 御堂筋」において、TDAプロデュースによる『呼吸する布と木のフェスタ』が、期間中同時開催された。

この企画は、丹後の織元3社と京都府の織物センターのご協力により、素晴らしい表情を持つテキスタイルの提供と、最高の立地条件をもつ「ギャラリー収納御堂筋」のショールーム提供により、実現した。この会期中、インテックス大阪では「living & design展」も開催され、とても沢山のムーブメントがあり、当イベントにも384名の方の来場があった。

出展は100個のクッションを中心にタペストリーやランチョンマット、アート作品が数点あり。日頃木製品中心のショールームにテキスタイルの柔らかな表情が加わり、文字通り呼吸する布と木のセッションによるフェスタとあった。

シルクを中心とした素材の為、それなりの価値のあるブライスだったが、一般の方の目にもとまり、少なからず売上があった。平素よりテキスタイルを扱うTDAのデザイナーによるプロの手腕に因るものだろう。

今回の地場産と大阪のショップをTDAが結び付けるという企画が、短い準備期間のなか遂行できたのも会員の多数の参加とご協力あっての事。このような社会の大きな流れに乗りながら、TDAのすべき方向性が少しでも示せ、案内ができた事は、大きな告知効果があったのではないかと考えている。

協賛： 大谷産業㈱ 田勇機業㈱ 宮眞㈱
協力： 京都府織物・機械金属振興センター (有)タキコウ縫製 ㈱コスモ



JFW INTERNATIONAL FASHION FAIR

●会期：2012年7月18日(水)～20日(金)
●会場：東京ビッグサイト 西館1,2&3,4ホール
●主催：織研新聞社・SENKEN

JFW INTERNATIONAL FASHION FAIR

第26回JFW・IFFは、2000年に織研新聞社が新しいファッションの展示会が誕生「モードとビジネスの出会いの場」として 毎年1月と7月に開催。毎回規模拡大と内容充実のファッション・ビジネスの展示・商談会である。2008年7月展から、「IFF展」の冠として「JFW」推進機構のアパレル関連事業として、国内最大規模のファッション・トレードショーへと拡大、まさにインターナショナルな展示会に拡大、ファッション業界に貢献して来ています。出展者は、大手アパレル、ファッションアクセサリ企業から個人デザイナーまで幅広い出展者。出展品目はアパレル全般&ファッション・アクセサリ、個性豊かな雑貨類、生活者・消費者の多様化時代を反映した、小売マーケットの変化、売り方の変化等に伴い、異業種商品との組み合わせ、コラボ企画が多く見られます。もはやファッションは業界の垣根を越えて、企業の主張を前面に打ち出す専門化ビジネスとトータルなファッション・ブランドビジネスがトレンドとして注目されています。

今回の注目イベント企画展示&同時開催の(AFF)主催者発表：入場者数25,030人

第26回の開催は、国内外から750社が参加、アパレル、雑貨を軸に多彩な企業が出展。中小企業基盤整備機構による「ニッポン・モノ・イチ」に22社が参加し日本各地のこだわり商品を披露。

中小気ふ企業庁が東日本震災の被災企業を支援する「にっぽん元気マーケット」も発出展

今回は特に商品カテゴリー別展示のゾーニングが明確化され、非常に見易い会場構成であった。3つのテーマゾーンも毎回充実、会場1階：アトリウムはファッションを切り口にしたトラベルスタイルを提案する「トラベルゾーン」が新設、4階の「ブライダルスタイル」では、ウエディングスタイルにとどまらず、マタニティやベビーグッズとトータルに構成。



※写真いしボードはTDAサイト内「EventTopics」に掲載していますのでそちらもご覧下さい。

「ドッグ・ファッションゾーン」は前回よりも出展社が増えてテーマゾーンのパワーアップを感じる。JFW/IFF展は国際色が年々拡大(16ヵ国)が出展。欧米からのブランド出展・・・インポートに新しい価値、中国・アセアン各国から多く出展、特に今回はインドから(3団体109社)過去最大の出展に注目・・・インド単独でファッションショーを開催

同時開催で注目を集めた【Asia Fashion Federation】Japan-Tokyo Conference
第9回アジアファッション連合会 日本・東京大会

2003年に発足したアジアファッション連合会は、日本・中国・韓国・シンガポール・タイ・ベトナム6ヵ国のファッション関連団体・組織、生活文化やアジアファッション産業の相互理解、マーケット参入への相互協力、アジアファッションの世界発信を目的に、広域での活動を展開している。

・A I F Fファッションショー：
「アジアから世界へ」をテーマにアジアクリエイションの魅力を存分に紹介する6ヵ国(6人)のデザイナーによるファッションショーがオープニングセレモニーの後開催(7月18日のみ)、後にF A Aコレクションコーナーにて作品展示。

・AFFテキスタイルコーナー：
「Japan Textileの未来」一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会の協力展示(3日間展示)

関連して、「Japan Textileの未来」をテーマにした、セミナー(第3部)「ものづくりアジアからの発信」

講師：わたなべひろこ